ONKYO®

USB デジタルオーディオプロセッサー

MSE-U33
MSE-U33HB

取扱説明書

お買い上げいただきまして、ありがとうございます。
ご使用前にこの「取扱説明書」をよくお読みいただき、正しくお使いください。
お読みになったあとは、いつでも見られる場所に保証書とともに大切に保管してください。

ソフトウエア使用許諾契約

ソフトウエアの包装を開封される前に、下記のソフトウエア使用許諾契約書を必ずお読みください。本ソフトウエアは下記使用許諾契約書の内容をご承諾いただいた場合にのみ、ご使用いただけます。もし、開封された場合には、下記使用許諾契約書にご承諾いただけたものとします。
本ソフトウエア製品（CD-ROM 等の記憶媒体に記録されたプログラム、データなど）は、万国著作権条約により、株式会社フェイス（日本国〒604-0982 京都市中京区御幸町夷川上ル松本町583-1）あるいは各ソフトウエアの制作会社の権利として日本国著作権法で保護されております。また、その他の財産権においても株式会社フェイスあるいは各ソフトウエアの制作会社が保有しております。
第 1 条
(a) 本ソフトウエア製品は 1 台のコンピュータのみに使用することができます。

(b) バックアップ用にのみ本ソフトウエア製品の複製を一部作成することができます。

本ソフトウエア製品の購入者は、株式会社フェイスが提供した本ソフトウエア製品に付された著作権表示を複製したものに付されなければなりません。

(c) 本ソフトウエア製品を第三者に譲り渡す場合は、関連書籍及びバックアップコピーと共に譲渡し、第三者に本契約条項を検討の上これに同意することを条件とします。

第 2 条
上記第一条(c)の場合を除いて、購入者は本ソフトウエア製品及びその複製物を販売、貸与、領付、移転その他の方法で、第三者に使用させることはできません。
第 3 条
購入者への予告なしに、本ソフトウエア製品の仕様を変更することがあります。
第 4 条
株式会社フェイスあるいは各ソフトウエアの制作会社は、本ソフトウエア製品を使用、又は使用できなかったことにより派生的、付随的又は間接的な一切の損害については、例えそのような損害の発生があらかじめ知らされていた場合でも、購入者に対し何らの責任を負いません。
第 5 条
購入者が本契約の 1. に違反した場合あるいは著作権法に違反したときに、本使用許諾は株式会社フェイスからの何らの通告なしに自動的に終了するものとします。そのときは、購入者は直ちに本ソフトウエア製品およびその複製物をすべて破棄していただかなくてはなりません。また、購入者は本ソフトウエア製品およびその複製物をすべて破棄することにより、いつでも本使用許諾を終了させることができます。

はじめに

このたびは、WAVIO(ウェイビオ) USB デジタルオーディオプロセッサーをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
本製品をお使いいただくにあたり、下記注意事項をお読みいただき、正しくお使いください。

- 本書は、マウスやキーボードの使用方法など、MacOS の基本的な操作についてすでにご存知であることを前提に書かれています。
- 本製品を運用した結果の影響については一切の責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本製品の故障、誤操作、不具合により生じた損害などの純粋経済損失については、その責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本書の内容は、将来、予告なく変更されることがあります。
- 本書の一部または全部を無断で貸し出し、転載することは固くお断りします。
- 本書に記載されているハードウエアおよびソフトウエアの名称は、各社の商標もしくは登録商標です。
- WAVIO Sound Engine の名称、ロゴはオンキヨー株式会社の商標です。
- WebSynth の名称、ロゴは株式会社フェイスの商標です。
- Opcode、OMS は、Opcode System,Inc. の商標です。
- BIAS、Peak le は米国 BIAS 社の登録商標です。
- Apple、MacOS、Apple ロゴ、Macintosh、Mac、iMac、iBook、Power Macintosh G3、Power Macintosh G4、PowerBook は、米国 Apple Computer,Inc. の米国およびその他の国における登録商標です。
- Acrobat は Adobe 社の登録商標です。

特長

■ USB 接続でオーディオクォリティのサウンドが実現
■ 3 ポートハブ機能搭載 (MSE-U33HB のみ)
■ 画期的音源 & サウンドフォーマット、ソフトウェア MIDI 音源 WebSynth 搭載
■ ステレオ波形編集ソフト Peak le をバンドル

目次

安全にお使いいただくために

ご使用の前に

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

⚠注意 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

△記号は注意(警告を含む)を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容(左図の場合は感電注意)が描かれています。

⃠ 記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。

●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。
図の中や近傍に具体的な指示内容(左図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください)が描かれています。

⚠警告

■ 故障したままの使用はしない

ACアダプターをコンセントから抜いてください

万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐにUSBケーブルをはずし、ACアダプターをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して、当社サポートセンターに修理を依頼してください。

■ 改造しない

分解禁止

本機を分解、改造しないでください。火災・感電の原因となります。

■ 100V以外の電圧で使用しない

- 本機を使用できるのは日本国内のみです。
- 表示された電源電圧(交流100ボルト)以外の電圧や船舶などの直流(DC)電源には絶対に接続しないでください。火災・感電の原因となります。

■ 放熱を妨げない

本機の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。本機には内部の温度上昇を防ぐため、ケースに通風孔があけてあります。次の点に気を付けてご使用ください。

- 本機を逆さまや横倒しにして使用しないでください。
- テーブルクロスをかけたり、じゅうたん、布団の上に置いて使用しないでください。

■ 水のかかるところに置かない

風呂場では使用しないでください。火災や感電の原因となります。

本機は屋内専用に設計されています。ぬらさないようにご注意ください。内部に水が入ると火災や感電の原因となります。

■ 水の入った容器を置かない

本機の上に、水などの入った容器や小さな金属物を置かないでください。中に入った場合、火災・感電の原因となります

■ 中に物を入れない

本機の通風孔から金属類や燃えやすいものなどを差し込まないでください。火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

■ 中に水や異物が入ったら

ACアダプターをコンセントから抜いてください

万一、本機の内部に水や異物が入った場合は、すぐにUSBケーブルをはずし、ACアダプターをコンセントからぬいて当社サポートセンターにご連絡ください。

■ ACアダプターのコードを傷つけたり、加工しない

ACアダプターのコードが傷んだら(芯線の露出、断線など)当社サポートセンターに交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

安全にお使いいただくために

- AC アダプターのコードの上に重いものをのせたり、コードが本機の下敷にならないようにしてください。コードに傷がついて、火災・感電の原因となります。コードの上を敷物などで覆うことにより、それに気付かず、重いものを載せてしまうことがあります。
- ACアダプターのコードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っぱったり、加熱したりしないでください。コードが破損して火災・感電の原因となります。

■ 落としたり、破損した状態で使用しない。

AC アダプターをコンセントから抜いてください

万一、誤って本機を落とした場合や、キャビネットを破損した場合には、そのまま使用しないでください。火災・感電の原因となります。AC アダプターをコンセントから抜き、必ず当社サポートセンターにご相談ください。

■ 雷が鳴り出したら機器に触れない。

雷が鳴り出したら、製品本体や AC アダプターには触れないでください。感電の原因となります。

⚠注意

■ 設置上の注意

ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落下等により、けがの原因となることがあります。

■ 次のような場所に置かない

- 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気があたるような場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- 湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。

■ 接続について

本機を他のUSB機器に接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続してください。また接続は、指定のコードを使用してください。指定以外のコードを使用したりコードを延長したりすると、発熱し、やけどの原因となることがあります。

■ 使用上の注意

本機に乗ったり、ふんだりしないでください。特にお子様にはご注意ください。こわれたりして、けがの原因となることがあります。

■ AC アダプターの注意

- AC アダプターを熱器具に近づけないでください。コードの被覆が溶けて火災・感電の原因となることがあります。
- ぬれた手で AC アダプターを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。
- ACアダプターを抜くときは、コードを引っぱらないでください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ず、AC アダプターを持って抜いてください。
- AC アダプターのコードを束ねた状態で使用しないでください。発熱し、火災の原因となることがあります。

AC アダプターをコンセントから抜いてください

- 旅行などで長期間、本機をご使用にならないときは、安全のため必ず AC アダプターをコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。
- 移動させる場合は、必ず AC アダプターをコンセントから抜き、機器間の接続コードなど外部の接続コードを外してから行ってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

■ 点検・工事について

AC アダプターをコンセントから抜いてください

お手入れの際は、安全のためUSBケーブルをはずし、AC アダプターをコンセントから抜いて行ってください。感電の原因となることがあります。

電源プラグにほこりがたまると自然発火（トラッキング現象）を起こすことが知られています。年に数回、定期的にプラグのほこりを取り除いてください。梅雨期前が効果的です。

- シンナー、アルコールやスプレー式殺虫剤を本機にかけないでください。塗装がはげたり変形することがあります。

- 表面の汚れは中性洗剤を薄めた液に布を浸し、固く絞って拭きとった後、乾いた布で拭いてください。化学ぞうきんなどをお使いになる場合は、それに添付の注意書きなどをお読みください。

必要なシステム構成

- iMac、iBook、または標準で USB 端子を持つ PowerMacintosh 及び PowerBook シリーズ
- 20 MB 以上のハードディスク空き容量
- 32 MB 以上の RAM (推奨 64 MB 以上)
- CD-ROM ドライブ（または相当品）
- MacOS 9.0.2 以降

製品構成（付属品）

本機には次のものが同梱されています。お確かめください。（　）内の数字は数量を表わしています。

□ USB デジタルオーディオプロセッサー（本体）（1）

□ USB ケーブル（1）

□ RCA ピンコード（1）

□ AC アダプター（1）（MSE-U33HB のみ）

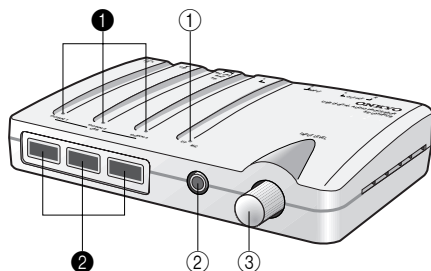
□ インストールCD-ROM（1）
内容については、CD-ROM 内の Menu.html ファイルをご覧ください。

□ 取扱説明書（本書）（1）

□ 保証書兼お客様登録カード（1）

各部の名称

前面

後面

前面

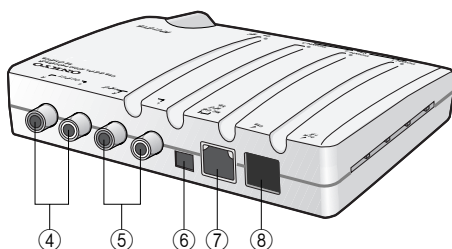
① 動作確認用インジケーター（UP）

② モノラルマイク入力端子 (MIC)

③ 入力レベル調整つまみ
(INPUT LEVEL)

（MSE-U33HB のみ）

❶ 動作確認用インジケーター

❷ USB ダウンポート
(USB DOWN-1/DOWN-2/DOWN-3)

後面（共通）

④ ライン出力端子
(OUTPUT L/R)

⑤ ライン入力端子
(INPUT L/R)

⑥ マイク / ライン入力切り換えスイッチ
(MIC LINE INPUT SEL)

⑦ USB アップポート
(USB)

⑧ DC IN 端子(DC IN 7.5V)
(MSE-U33 では使用しません)

接続のしかた

■ 接続を始める前に

MSE-U33/MSE-U33HB を Macintosh 本体に接続する前に、下記の点について必ずご確認ください。

MacOS について
MacOS9.0.2 以降が現在の状態で正しく起動できることを確認してください。

※本機は MacOS9.0 以前のシステムでは動作しません。現在ご使用のシステムソフトウェアが MacOS9.0 の場合 MacOS9.0.2 以降へシステムソフトウェアのアップデートが必要です。システムソフトウェアのアップデートについては、Macintosh 本体の説明書をご参照ください。

CD-ROM ドライブについて
USBデジタルオーディオプロセッサーをセットアップするためのソフトウェアは、CD-ROMに収められていますので、CD-ROM ドライブが必要です。セットアップする前に、CD-ROM ドライブが使用可能であることをご確認ください。

OMS（Open Music System）について
オプコード社の Open Music System（OMS）は、MIDI アプリケーションと MIDI デバイス間のコミュニケーションを可能にするソフトウェアです。
MSE-U33/MSE-U33HB に添付されているソフトウェア MIDI 音源「WebSynth」を、MIDI アプリケーションで使用するには OMS をセットアップする必要があります。
OMS については、本マニュアルの「MIDI の再生」の項目をご確認ください。

ご注意
標準で USB ポートを持たない Macintosh はサポートの対象外です。PCI ボードなどにより USB ポートを増設している Macintosh については本機の動作が正常に行われない場合があります。

必要動作環境を満たす Macintosh であっても、Macintosh シリーズ固有の設計仕様やお客様の使用環境の違いにより、本機の動作が正常に行なわれない機種があります。本製品の制限事項や動作確認情報についての詳細は巻末記載のホームページにてご確認ください。

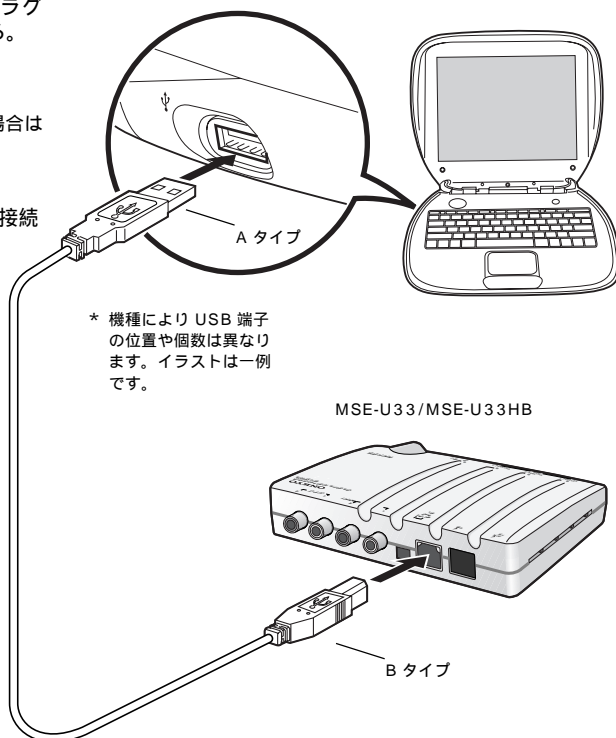
接続のしかた

■ パソコンへ本機を接続する。

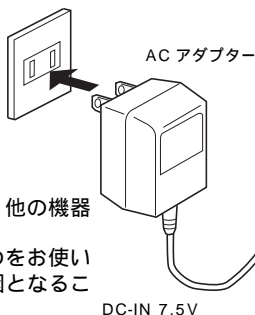
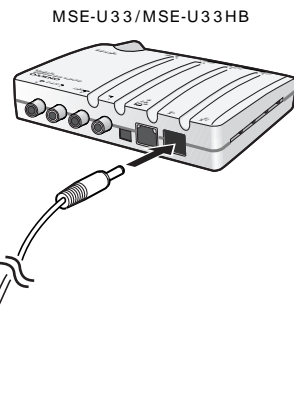
1. 付属のUSBケーブルのAタイプのプラグ（▭）をMacintosh本体へ接続する。

♪ヒント

Macintosh本体のUSBポートが2個以上ある場合はどのポートに接続しても構いません。

2. Bタイプのプラグ(□)をMSE-U33/MSE-U33HBのUSB端子へ接続する。

■ AC アダプターを本機に接続する。

MSE-U33HBは、付属のACアダプターを使用します。
MSE-U33についてはACアダプターを使用しなくても通常の動作に問題はありません。

ご注意

付属のACアダプターは本機専用です。他の機器には絶対に使用しないでください。
また、指定のACアダプター以外のものをお使いになりますと、本機の故障・火災の原因となることがあります。

その他の機器との接続

USB ケーブル以外の接続をするときは、接続する機器の電源を切ってから行ってください。

■ オーディオシステムとの接続
■ マイクとの接続
■ アンプ内蔵スピーカーとの接続

後面

ONKYO 製
GX-70AX などの
アンプ内蔵スピーカー

OUTPUT

R

L

R

L

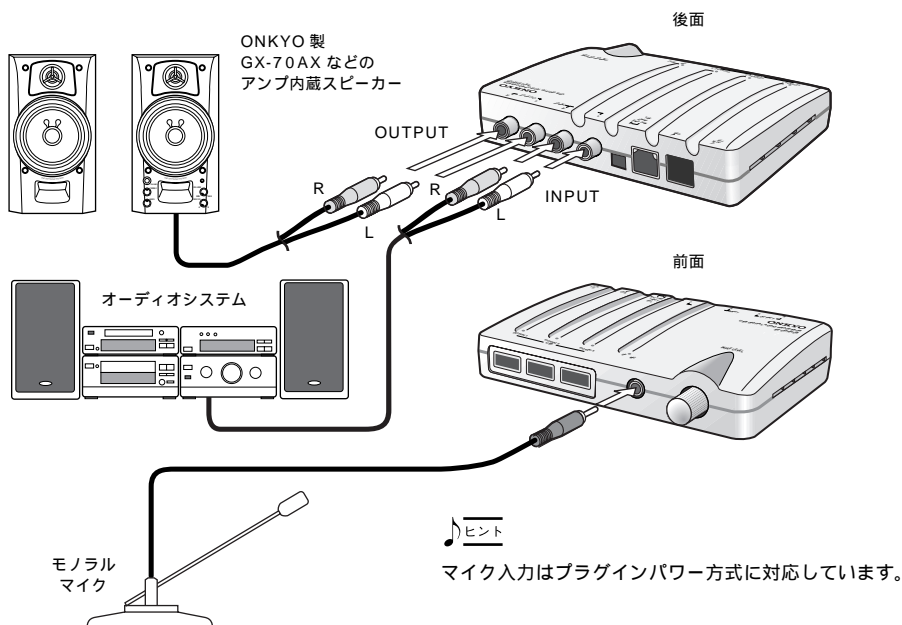
INPUT

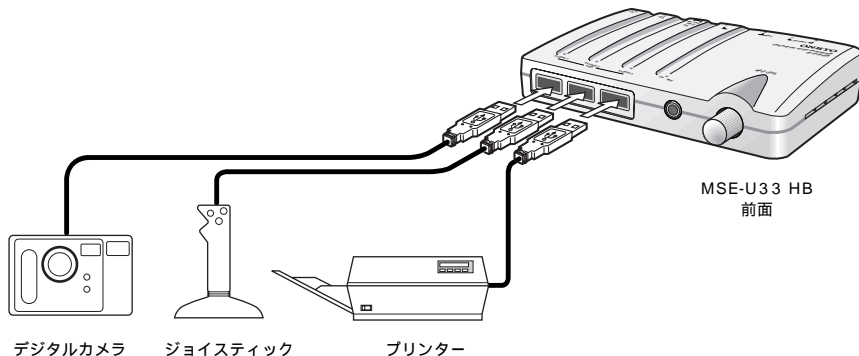
前面

オーディオシステム

モノラル
マイク

ヒント

マイク入力はプラグインパワー方式に対応しています。

■ USB ポートを持っている機器（デジタルカメラやジョイスティック、プリンターなど）との接続（MSE-U33HB のみ）

端子の抜き差しをする際には、スピーカーの音量を絞ってください。

ソフトウェアのセットアップ

本マニュアルではチュートリアル形式で、各ソフトウェアのセットアップを説明しています。
ソフトウェアによっては正しい順序でセットアップしていない場合、認識できないことがあります。本マニュアルの順序でセットアップすることを推奨します。

■デバイス認識の確認（11 ページ）

・この章では、本機（MSE-U33/HB）が正常に認識しているか確認します。USB 標準搭載の Macintosh シリーズで MacOS のバージョンが 9.0.2 以降であれば本機を正常に認識することができます。

■ AIFF と音楽 CD の再生（12 ページ）

・この章では、AIFF ファイルと音楽 CD を本機（MSE-U33/HB）にて再生します。正常に再生できない場合は、本章および「デバイス認識の確認」をご確認ください。

■ MIDI の再生（13 〜 21 ページ）

・この章では、ソフトウェア MIDI 音源 WebSynth を使用して MIDI ファイルを再生します。

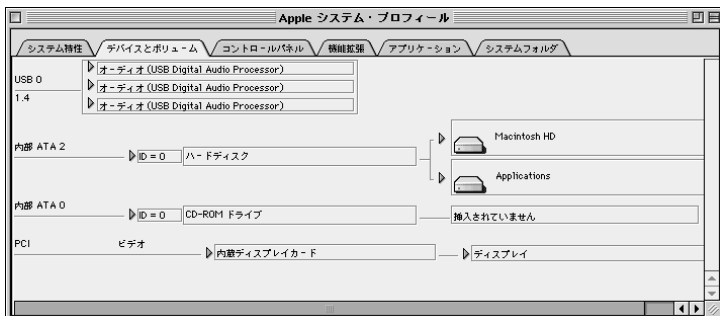
■ハードディスクレコーディング（22 〜 26 ページ）

・この章では、本機にバンドルのステレオ波形編集ソフト Peak le を使用した、ハードディスクレコーディングをおこないます。

※ CD-ROM について
本機に付属のCD-ROMには、各種ソフトウェアおよび本マニュアルのチュートリアルで使用するサンプルファイルなどが含まれています。詳しくはCD-ROMのルートにあるMenu.htmlをご確認ください。

デバイス認識の確認

■ デバイスの確認

MSE-U33/MSE-U33HB を Macintosh の USB ポートに接続します。アップルメニューから「Apple システム・プロフィール」を開き、「デバイスとボリューム」タブを選択します。
正常に接続されている場合には「USB」の欄に「オーディオ（USB Digital Audio Processor）」と表示されます。

■ オーディオデバイスの確認

アップルメニューから「コントロールパネル」→「サウンド」を開き、サウンド入力装置、サウンド出力装置に「USB オーディオ」が表示されているか確認します。「USB オーディオ」が表示されていない場合、システムソフトウェアのバージョンが対応していない可能性があります。システムソフトウェアのバージョンを確認して必要なアップデート処理をおこなってください。

♪ヒント

必要な動作環境を満たすシステム構成でもサウンド装置の欄に「USB オーディオ」が表示されない場合は、MSE-U33/HB から USB ケーブルを抜き差ししてデバイスを再認識させてください。

入力

出力

AIFF と音楽 CD の再生

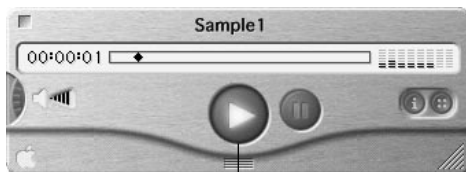
■　USB オーディオの設定

アップルメニューから「コントロールパネル」→「サウンド」を開き、「出力」を選びます。「サウンド出力装置の選択」を「USB オーディオ」に設定します。

■　AIFF ファイルの再生

1.　QuickTime プレーヤを開きます。

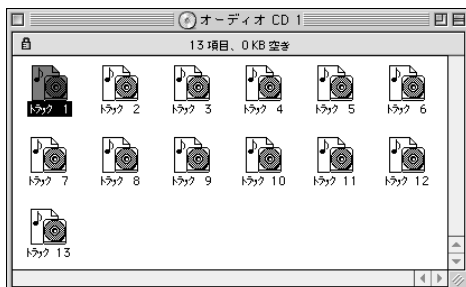
2.　QuickTime プレーヤが起動したら、「ファイル」メニューから「ムービーを開く」を選択します。付属の CD-ROM の SampleAIFF フォルダの中にある「Sample」を選択し、「変換」ボタンをクリックします。

3.　プレイボタンをクリックすると、AIFF ファイルが再生されます。

プレイボタン

■　音楽 CD の再生

1.　本体にオーディオ CD をセットします。
2.　アップルメニューから「コントロールパネル」→「サウンド」を開いて「入力」を選び、「サウンド入力装置の選択」を「内蔵 CD」に設定します。
3.　オーディオ CD のオーディオトラックをダブルクリックします。

オーディオ CD が再生されます。

※ QuickTime コントロールの設定で自動再生の設定になっている場合はオーディオCDは自動的に再生されます。

MIDI の再生

■ OMS のインストール

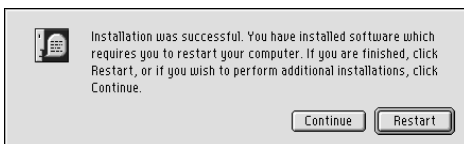
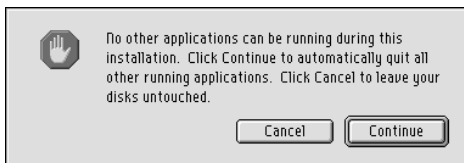
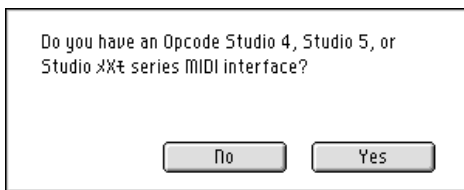
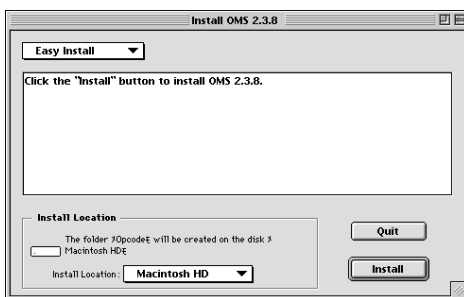
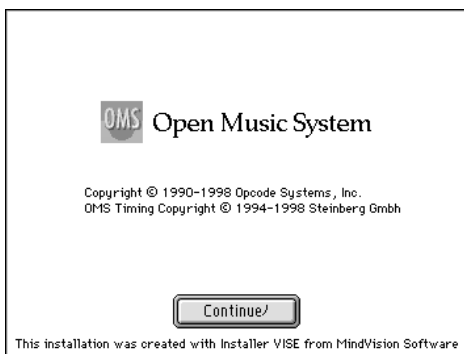
オプコード社の Open Music System（OMS）は、MIDI アプリケーションと MIDI デバイス間のコミュニケーションを可能にするソフトウェアです。MSE-U33/MSE-U33HB に添付されているソフトウェア MIDI 音源「WebSynth」を、MIDI アプリケーションで使用するには OMS をセットアップする必要があります。OMS をインストールする場合は、付属の CD-ROM 内の「OMS」フォルダにある「Install OMS 2.3.8 」をダブルクリックしてください。

1. インストール画面にしたがって「Continue」をクリックします。

2. 「Easy Install」を選択し、「Install」をクリックします。

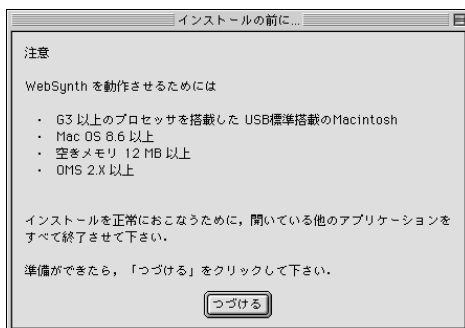
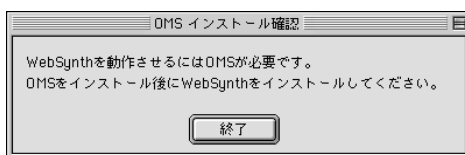
3. 「オプコード社の Studio 4、Studio 5、あるいは Studio シリーズの MIDI インターフェースを入れていますか。」と聞いてきますので、ご使用の Macintosh の環境に合わせて「No」「Yes」をクリックします。他の MIDI アプリケーションを使用していない場合は「No」をクリックします。

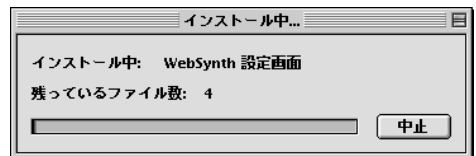
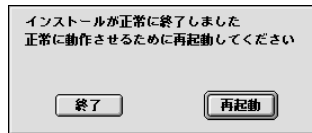
4. 「Continue」をクリックします。現在実行中のアプリケーションが自動的に終了し、インストールが始まります。

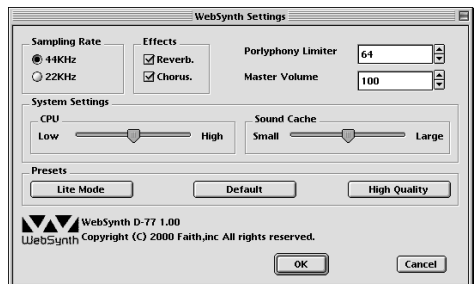
5. OMS のインストールが完了しました。「Restart」をクリックし、Macintosh を再起動します。

MIDI の再生

■ ソフトウェア MIDI 音源「WebSynth D-77」のインストール

1. はじめにそれまで実行していたすべてのアプリケーションを終了させてください。
2. CD-ROM のアイコンをダブルクリックしてください。
3. CD-ROM から「WebSynth」フォルダを開き「WebSynth Install」をダブルクリックします。
4. インストール画面にしたがって［つづける］をクリックします。

5. インストーラの指示に従い､「つづける」をクリックします。

※ OMS が正常にインストールされていない場合は「OMS インストール確認」画面が表示されます。「終了」をクリックして、P13 の「OMS のインストール」をご参照ください。

6. インストール先フォルダが、指定できます。通常はそのまま「インストール」をクリックしてください。

7. インストールが正常に終了するとメッセージが表示されます。「再起動」をクリックします。

WebSynth のインストールが完了しました。

■ WebSynth D-77 の設定

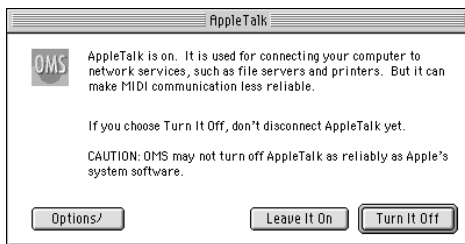
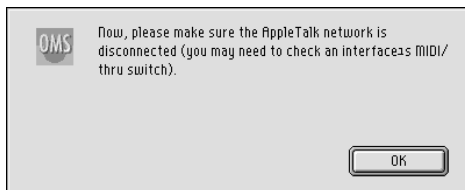
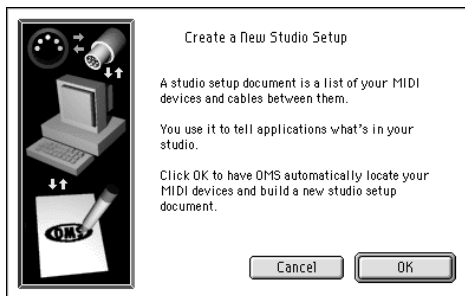
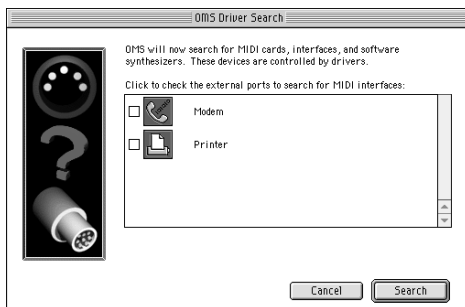
1. 「コントロールパネル」→「WebSynth 設定」を開きます。

2. 各チェックボックス、スライドバーにて WebSynth の設定ができます。

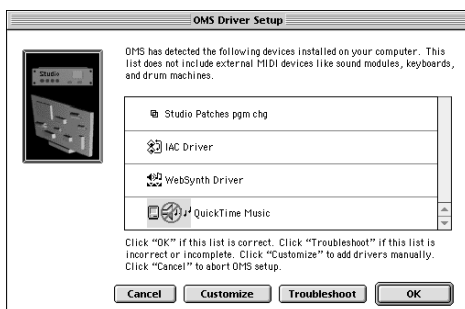
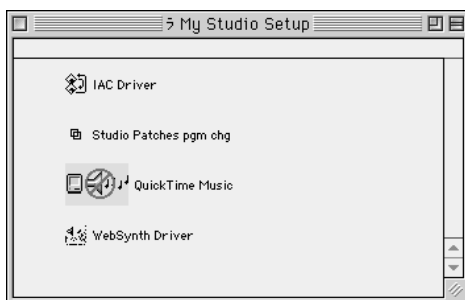
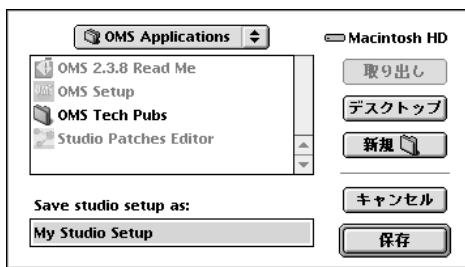
Sampling Rate：WebSynth のサンプリングレートが、44kHz/22kHz に切り換えられます。
Effects：Reverb/Chorus のそれぞれの ON/OFF が切り換えられます。
Polyphony Limiter：WebSynth の最大同時発音数の制限を選択できます。
Master Volume：WebSynth のマスターボリュームを調整します。
CPU：Low から High のスライドバーによって、CPU に与える負荷を制限します。
Sound Cache：WebSynth がオーディオデータを作成するためのバッファのサイズを調整します。通常は Small で使用してください。
Presets：「Lite Mode」 CPU への負荷を軽くした設定に各項目が変更されます。
：「Default」WebSynth の設定を標準的なものに設定します。
：「High Quality」WebSynth の機能を最大限に発揮できる設定になります。

3. 設定変更後は「OK」をクリックすると変更されます。

MIDI の再生

■ OMS の設定

1. 「OMS Setup」を起動してください。OMS Setup は、MacintoshHD（OMS をインストールした HDD）の Opcode フォルダ→ OMS Applications フォルダの中にあります。
2. 現在接続されている MIDI 装置を検索するため AppleTalk を終了します。「Turn It Off」をクリックします。

3. MIDI 装置がつながれている場合は MIDI 装置の電源が入っているのを確認し、「OK」をクリックします。

4. 「OK」をクリックするとOMSセットアップは現在接続されている MIDI 装置を自動的に検出します。

5. 「Search」をクリックします。

MIDI の再生

6. 通常は「OK」をクリックしてください。
   MIDI 装置の構成をカスタマイズする場合は「Customize」をクリックします。

7. 現在セットアップされているドライバの一覧が表示されます。正しければ「OK」をクリックします。

8. 「保存」をクリックし、スタジオセットアップ書類を保存します。

OMS の設定が完了しました。

MIDI の再生

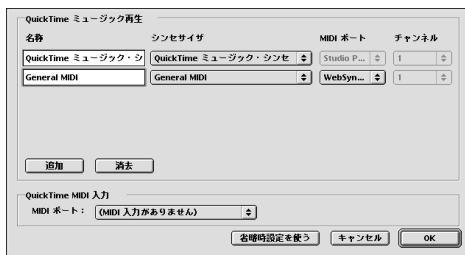
■ WebSynth を使った MIDI の再生

ソフトウェア音源に WebSynth を使用して、QuickTime プレーヤで MIDI ファイルを再生します。

1. 「コントロールパネル」→「QuickTime 設定」を開き、ポップアップメニューから「ミュージック」を選択します。

2. 「リスト編集」をクリックします。音源の設定画面が表示されます。

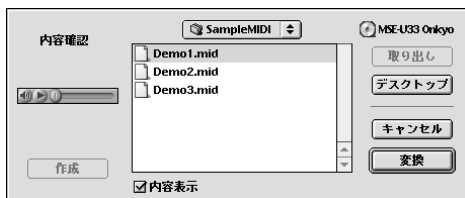
3. 「追加」ボタンをクリックし、音源を追加します。シンセサイザを「GeneralMIDI」に、MIDI ポートを「WebSynth」に設定します。

4. 「OK」をクリックします。

MIDI の再生

5. リストで「GeneralMIDI」のラジオボタンをクリックします。

6. ウインドウ左上のクローズボックスをクリックして QuickTime 設定を閉じます。

7. QuickTime プレーヤを起動して、「ファイル」メニューから「ムービーを開く」を選択し、MIDIファイルを選択、「変換」ボタンをクリックします。

※サンプルの MIDI ファイルが CD-ROM の SampleMIDI フォルダにあります。

8. QuickTime ムービーとして変換された MIDI ファイルを保存します。「保存」をクリックします。

※デスクトップなど、CD-ROM以外の場所に保存してください。

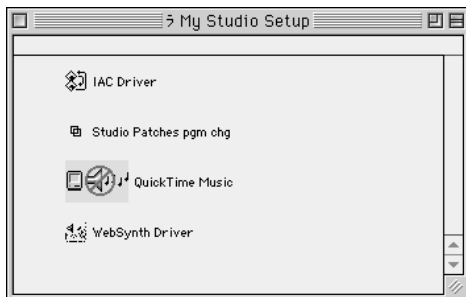
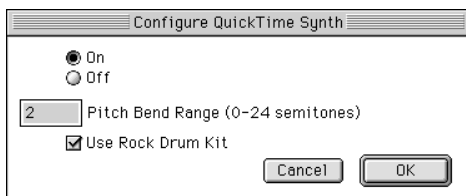
9. 再生ボタンをクリックします。WebSynth を使用して MIDI ファイルを再生できるようになりました。

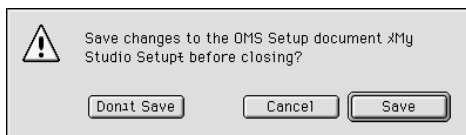
QuickTimeプレーヤはGM音源のみをサポートしていますので、付属の CD-ROM の Demo ファイルは本来の音色では再生されません。

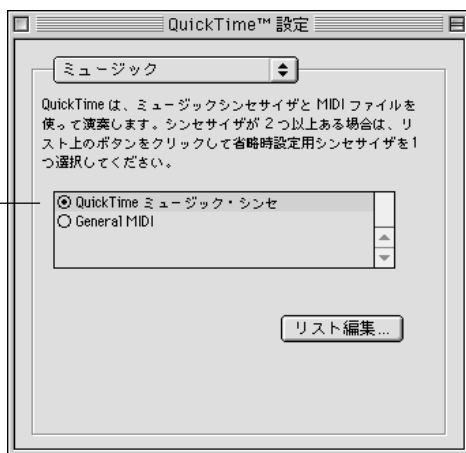
MIDI の再生

■ QuickTime ミュージック・シンセを使った MIDI の再生

ソフトウェア音源に QuickTime ミュージック・シンセを使用して、QuickTime プレーヤで MIDI ファイルを再生します。

1. 「My Studio Setup」を開きます。(My Studio Setup は OMS をインストールしたハードディスクの「Opcode」フォルダ→「OMS Applications」フォルダの中にあります。)デフォルトでは QuickTime ミュージック・シンセは使用不可になっていますので、使用可能に設定します。

2. QuickTime Music をダブルクリックします。「On」をクリックし、「OK」ボタンをクリックします。

3. QuickTime Music が使用可能になりました。ウインドウ左上のクローズボックスをクリックしてウインドウを閉じます。

4. スタジオセットアップ書類を保存します。「Save」をクリックします。

MIDI の再生

5. コントロールパネルから「QuickTime設定」を開きます。ポップアップメニューから「ミュージック」を選択し、音源リストの「QuickTime ミュージック・シンセ」のラジオボタンをクリックします。ウインドウを閉じます。

6. QuickTime プレーヤを起動して、「ファイル」メニューから「ムービーを開く」を選択します。MIDI ファイルを選択し「変換」ボタンをクリックします。

※ CD-ROM の SampleMIDI フォルダにサンプルの MIDI ファイルがあります。

7. 「保存」をクリックします。

※デスクトップなど、CD-ROM以外の場所に保存してください。

8. 再生ボタンをクリックします。QuickTime ミュージック・シンセを使用してMIDIファイルが再生できるようになりました。

QuickTimeプレーヤはGM音源のみをサポートしていますので、付属の CD-ROM の Demo ファイルは本来の音色では再生されません。

ハードディスクレコーディング

■ Peak le について

Peak le は BIAS 社（米国）が開発した Macintosh 用波形編集ソフトウェアです。サンプルレベルの波形編集から Premiere プラグインを使ったエフェクト処理機能に対応するのでMacOS 上での標準的なソフトウェアとして世界中のユーザーに使用されています。

■ Peak le のインストール

1. 本製品 のインストールを行う前に、ウイルスチェックソフトを無効にして下さい（インストールされている場合のみ）。またMacOS 以外の機能拡張書類は全て無効にしてからインストール作業を行ってください。

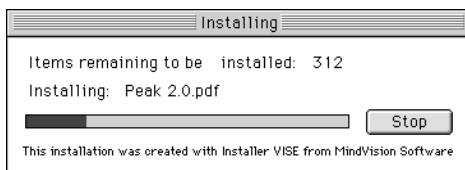
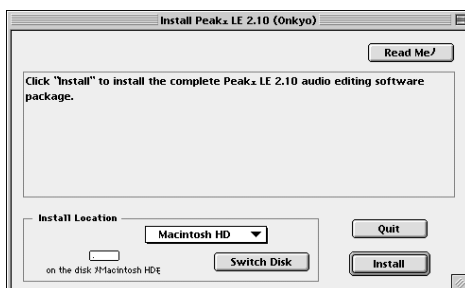
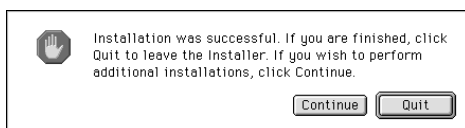
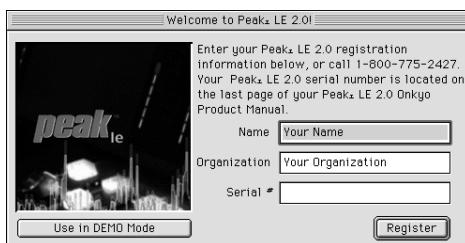
2. 付属の CD-ROM から「Peak 2.1」フォルダを開き「Install Peak ™ LE 2.10 」を、ダブルクリックして下さい。
3. 「Continue」ボタンをクリックして下さい。

4. ライセンス事項が表示されます。内容にご同意の上、「Continue」ボタンをク リックしてください。

This legal document is an agreement between you, the end user, and BIAS, Inc. BY CLICKING "INSTALL" ON THE FOLLOWING DIALOG, YOU ARE AGREEING TO BECOME BOUND BY THE TERMS OF THIS AGREEMENT, WHICH INCLUDES THE SOFTWARE LICENSE AND THE SOFTWARE DISCLAIMER OF WARRANTY (collectively the "Agreement"). CLICK "QUIT" ON THE FOLLOWING DIALOG IF YOU DO NOT AGREE WITH THIS AGREEMENT. THIS AGREEMENT CONSTITUTES THE COMPLETE AGREEMENT BETWEEN YOU AND BIAS, INC. IF YOU DO NOT AGREE TO THE TERMS OF THIS AGREEMENT, DO NOT USE THE SOFTWARE ON THE DISKS INCLUDED IN THIS PACKAGE AND PROMPTLY RETURN THE UNOPENED PACKAGE AND THE OTHER MATERIALS (INCLUDING WRITTEN MATERIALS, BINDERS OR OTHER CONTAINERS) THAT ARE PART OF THIS PRODUCT TO THE PLACE WHERE YOU OBTAINED THEM FOR A FULL REFUND.

BIAS SOFTWARE LICENSE
1. GRANT OF LICENSE. In consideration of payment of the LICENSE fee, which is part of the price you paid for this product, BIAS, as Licensor, grants to you, the LICENSEE, a nonexclusive right to use and display this copy of a BIAS software program (hereinafter the "SOFTWARE") an a single COMPUTER (i.e., with a single CPU) at a single location. BIAS reserves all rights not expressly granted to LICENSEE.
2. OWNERSHIP OF SOFTWARE. As the LICENSEE, you own the magnetic or other physical media on which the SOFTWARE is originally or subsequently recorded or fixed, but BIAS retains title and ownership of the SOFTWARE recorded on the original disk copy(ies) and all subsequent copies

Print/ Save As/ Continue

5. インストール画面が表示されます。「Install」ボタンをク リックします。

6. インストールが完了しました。「Quit」ボタンをクリックして下さい。

7. 最初の起動時に所有者情報(氏名‐Name / 所属‐Organization)とシリアル番 号(Serial #)を入力する必要があります。その場合は3 つの欄にローマ字/数字にて入力してください。シリアル番号(**BPL-1120680040**)は、取扱説明書の 最終頁にも記載されています。所 属‐Organization の欄はお名前でも結構です。入力が終了したら右下の「Register 」ボタンをクリックします。

※Peak leの詳細な情報はCD-ROMの「Peak 2.1」フォルダの中にある PDF ファイルに記載されています。PDF をご覧頂くには Adobe 社の Acrobat Reader 日本語版が必要です。

・Peak2.0‐Japanese.pdf（Peak2.0 シリーズ日本語マニュアル）
・Peak 2.10 Addendum_J.pdf（Peak2.1 シリーズ日本語追補マニュアル）

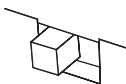
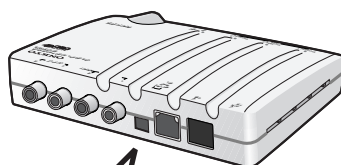
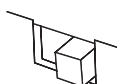
ハードディスクレコーディング

■ Peak le によるレコーディング

1. Peak le（PPC）を起動します。

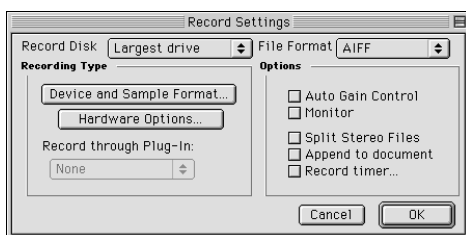
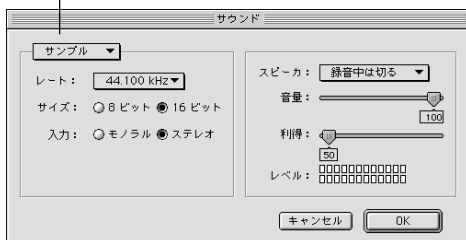
ご注意

この画面が表示された場合は、「OK」をクリックし、いったん終了した後にコントロールパネルの「メモリ」にて「仮想メモリ」を「切」に設定し、再起動後にご使用ください。

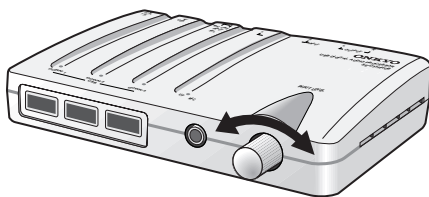
2. マイク入力の場合は、本機のマイク／ライン入力切り換えスイッチを「MIC」に、ライン入力の場合は「LINE」に切り換えます。

3. Audio メニューの Sound Out から「USB オーディオ」または「内蔵」を選択します。

4. ツールバーのレコーディングボタンをクリックします。

5. Record 画面の録音調整ボタンをクリックします。

6. Record Settings画面の「Device and Sample Format...」ボタンをクリックします。サウンド画面が開きます。

7. サウンド画面のポップアップメニューから「サンプル」を選択します。「サイズ」を「16ビット」に、「入力」を「ステレオ」に設定します。

8. サウンド画面のポップアップメニューを「ソース」にし、「装置」を「USB オーディオ」にします。設定が完了したら、「OK」をクリックします。

ハードディスクレコーディング

9. 音を鳴らしながら入力レベル調整つまみで録音レベルを調整します。

6. レコーディングの準備ができたら「レコーディング」ボタンをクリックします。

7. 「ストップ」ボタンをクリックするとレコーディングしたファイル(AIFF)を保存できます。「保存」をクリックしてください。

Peak le のご登録とアップグレードについて

■ Peak le のご登録について

本製品に付属する「Peak le」をご登録ください。ご登録ユーザー様へは今後のアップデート情報を株式会社カメオインタラクティブよりご連絡させて頂きます。下記内容をご記入の上、「アップグレードお問い合わせ先」まで郵送、FAX 、E-mail のいずれかでお送りください。

※本製品に付属の「Peak le」のテクニカル・サポートについては当社サポートセンターまでご連絡ください。

- 製品名：Peak le 2.1
- Peak le バージョン：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ （必須）
- Peak le シリアル番号：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ （必須）
- ユーザー名：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ （必須）
- 性別：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ （必須）
- 生年月日：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ （必須）
- 住所：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ （必須）
- 電話番号：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ （必須）
- E-mail アドレス：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿
- お買い上げ日：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ （必須）
- お買い上げ店名：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

■「Peak スタンダード版」アップグレード案内

本製品に付属の「Peak le 」からは「Peak ST 」へアップグレードして頂くことができます。
アップグレード価格 ....22,575 円（税込金額）
※これは2000 年4 月現在の価格です。アップグレードされる時期により価格が変更している場合があります。予 めご了承ください。
ご希望される「Peak le」ユーザー様は下記宛先までお問い合わせください。アップグレードに必要な書類を送付させて頂きます。

アップグレード 専用お問い合わせ先：

〒 540-0013 大阪市中央区内久宝寺町 4-2-9
株式会社カメオインタラクティブ アップデートサポート
TEL: 03-3371-5975（東京）、06-6762-0321（大阪）、FAX:06-6764-5514（大阪）
E-mail: update@cameo.co.jp

追加機能及び基本性能：

サンプラー対応、QuickTime ムービー 同期、SMPTE 同期、Loop サーファー、バッチプロセッサー
最大ボリューム位置 / 値の計算、Meter 表示の変更、Export Regions 、Export as Text 、Markers to Regions 、Guess Tempo 、Show Marker Times 、Shortcuts &Toolbar 、Movie Sound Tracks 、DAE 録音、Audiosuite プラグイン（Digidesign 製 PCI オーディオカード使用時）

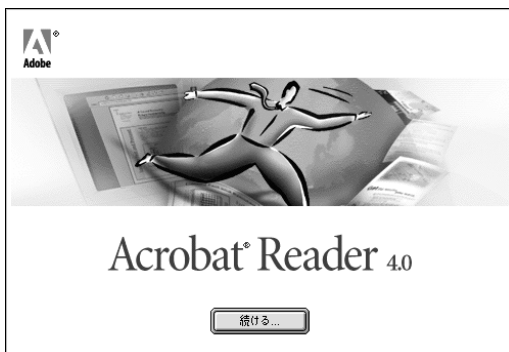
DSP メニュー：

Add 、Amplitude Fit 、Change Duration 、Change Pitch 、Convolve 、Crossfade Loop 、Find Peak 、Loop Tuner 、Mono to Stereo 、Stereo to Mono 、Mondulate 、Panner 、Phase Vocoder 、Rappify 、Repair Clicks 、Remove DC Offset 、Threshold

Peak のより詳しい内容は以下の URL をご参照ください。

http://www.cameo.co.jp/product/peak/peak.htm

オンラインマニュアルの使い方

付属の CD-ROM に入っているオンラインマニュアルは PDF 形式のファイルですので、これを読むためにはまず Acrobat Reader がインストールされていることをご確認ください。
インストールされていない場合は、まず下記の「■ Acrobat Reader のインストール」にしたがって操作を進めてください。

■ Acrobat Reader のインストール

1. 付属の CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットします。
2. CD-ROM を開きます。
3. 次に「Adobe」フォルダを開きます。
4. フォルダ内にある「Japanese Reader Installer」をダブルクリックします。
   ファイルの抽出が始まります。
5. あとは画面の指示にしたがってください。次の画面へ行くには「続ける ... 」をクリックします。

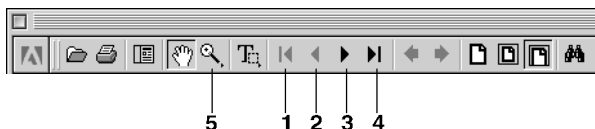
■ オンラインマニュアルの起動方法

付属の CD-ROM を開き、menu.html ファイルをダブルクリックしてください。
または、付属の CD-ROM から目的のマニュアルファイルを選択して起動してください。

■ Acrobat Reader の基本操作

メニューバーとツールバー
オンラインマニュアルを起動すると、画面の上部に図のような画面が表示されます。

1. 先頭ページを開きます。
2. 前のページに戻ります。
3. 次のページへ進みます。
4. 最後のページを開きます。
5. ページを拡大表示します。

5 1 2 3 4

その他
メニューバーの中から「ヘルプ」を選び、「Reader オンラインガイド」を選択します。
操作方法を詳しくお知りになりたい場合は、このオンラインガイドをご利用ください。

主な仕様

WebSynth

Synth 部	音声発音方式 パート数 最大発音数 再生レイト WAVE サンプリングレート 波形サイズ 音色数	PCM 16 トラック 256 音 22.5/44.1 kHz 切り換え 44.1 kHz 2.3 MB 674
Effect 部	ドラムセット エフェクトタイプ	15 リバーブ、コーラス
フィルタ	エフェクトコントロール	チャンネル毎
その他	ダイナミックフィルタ 対応 MIDI メッセージ MIDI IN MIDI IN 速度 対応 OS 推奨 CPU 必要メモリ	TVF GM/GS/+ α 可 50-500 ms 以下 MacOS9.0.2 以降 G3 233 MHz 以上 64 MB 以上

WAVIO Sound Engine

型番	**MSE-U33HB**	**MSE-U33**
形式	USB デジタルオーディオプロセッサー	USB デジタルオーディオプロセッサー
接続方式	USB (Universal Serial Bus Ver. 1.1)	USB (Universal Serial Bus Ver. 1.1)
サンプリング周波数	48 kHz 以下	48 kHz 以下
周波数特性	0.3 〜 20 kHz (+0/-0.5 dB)	0.3 〜 20 kHz (+0/-0.5 dB)
SN 比	100 dB (A-Filter)	100 dB (A-Filter)
全高調波歪率	0.002 % (1 kHz, 0 dB)	0.002 % (1 kHz, 0 dB)
出力レベル	1.0 Vrms	1.0 Vrms
ライン入力レベル	250 mVrms	250 mVrms
マイク入力感度	17 mVrms	17 mVrms
電源	DC 7.5 V、1500 mA（専用 AC アダプター）	USB 供給 オプション DC 7.5 V（専用 AC アダプター）
消費電流	126 mA	86 mA
外形寸法（幅×高さ×奥行）	130.0 x 29.6x 90.0 mm	130.0 x 29.6x 90.0 mm
質量	175 g	160 g

故障かな？と思ったら

症状	原因	処置
機器を認識しない。	• 接続が不完全。 • 接続しているハブに問題がある。 • Mac 本体からの電源供給が不十分な場合に、機器を認識しないことがある。	• 8～9 ページを参考に、USB ケーブルで機器が確実に接続されているか、確認してください。 • ハブを経由している場合は、ハブが動作しているかどうかを確認してください。 • 当社サポートセンターへお問い合わせください。
音声が出ない。	• ミュートされている。 • 出力レベルが小さい。 • 他の音声出力デバイスが使用されている。 • 外部アンプあるいはスピーカーに問題がある。	• 「コントロールパネル」→「サウンド」で「出力」を選び、「消音」のチェックを外してください。 • 「コントロールパネル」→「サウンド」で「出力」を選び、「音量」で各音声出力のレベルを適正な値に調整してください。 • 「コントロールパネル」→「サウンド」で「出力」を選び、「サウンド出力装置の選択」からUSBオーディオを選択してください。 • ラインアウト端子から外部アンプやスピーカーに確実に接続されているかどうか確認してください。また、外部アンプやスピーカーの電源やボリュームを確認してください。
左右の音量バランスがかたよっている。	• バランスが中央に設定されていない。 • 外部アンプあるいはスピーカーに問題がある。	• QuickTimeプレーヤなどのバランススライドバーで調整してください。 • 外部アンプやスピーカーのバランスを確認してください。

故障かな？と思ったら

症状	原因	処置
ゲームの BGM が出力されない。	• BGM に CD の音声が使用されている。	• 上記「CD-ROMドライブからの音声が出力されない」の項目をご覧ください。
マイク音声が入力できない。	• サウンド入力装置の選択に問題がある。 • マイクの接続が不完全。 • マイクの適合性に問題がある。 • マイク／ライン入力切り換えスイッチが、ライン入力になっている。 • 入力レベル調整つまみが MIN になっている。	• 「コントロールパネル」→「サウンド」で「出力」を選び、「サウンド出力装置の選択」からUSBオーディオを選択してください。 • マイクを確実に接続してください。 • 9 ページを参照して本製品に適合するマイクをご使用ください。 • 背面にあるスイッチをマイク入力に切り換えてください。 • 音量を適当な値に調整してください。
ライン音声が入力できない。	• サウンド入力装置の選択に問題がある。 • ライン入力の接続が不完全。 • 外部機器から音声が出力されていない。 • マイク／ライン入力切り換えスイッチが、マイク入力になっている。 • 入力レベル調整つまみが MIN になっている。	• 「コントロールパネル」→「サウンド」で「出力」を選び、「サウンド出力装置の選択」からUSBオーディオを選択してください。 • 外部からライン入力に確実に接続してください。 • 外部機器から音声が出力されているかどうか確認してください。 • 背面にあるスイッチをライン入力に切り換えてください。 • 音量を適当な値に調整してください。
音が途切れる。	• 音声出力や入力中に、負荷のかかる作業をしている。 • 音声出力や入力中に、他のUSB機器を抜き差しした。 • 仮想メモリを使用している。	• 録音等をされる場合には、CPUに負担のかかる作業は控えてください。 • 音声の再生や録音中に、他のUSB機器を抜き差しすると、音声が途切れることがあります。 • 「コントロールパネル」→「メモリ」で仮想メモリを「切」にしてご使用ください。
雑音が多い。	• テレビなど、強い磁気を帯びたものの近くに置いている。	• テレビなどから十分に離して置いてください。

処置を施したにもかかわらず症状が改善されない場合は、巻末のサポートセンターまでご連絡ください。

※　あなたが録音したものは、個人として楽しむほかは著作権法上、権利者に無断で使用できません。

アフターサービスについて

■ 保証書について

この製品には、保証書を別途添付しております。所定事項の記入および記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。保証期間はお買い上げ日より 1 年間です。

■ 保証期間中の修理は

万一、故障や異常が生じたときには、商品と保証書をご持参ご提示の上、お買い上げの販売店または当社サポートセンターにご依頼ください。
詳細は保証書をご覧ください。

■ 修理を依頼されるときは

「おところ」「お名前」「電話番号」「製品名（MSE-U33 または MSE-U33HB）」「故障または異常の内容」をできるだけ詳しく、お買い上げ店または当社サポートセンターまでご連絡ください。

■ 保証期間経過後の修理は

お買い上げ店または当社サポートセンターにご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。

ご購入された時にご記入ください。
サービスを依頼されるときなどに、お役に立ちます。

ご購入年月日 ：　　　　　**年**　　**月**　　**日**

ご購入店名 ：

Tel.

メモ：

Peak le シリアル No.

BPL-1120680040

電話でのお問い合わせ：072-831-7305

サポート時間：月～金曜日
（祝日および当社指定休日を除く）
10:00 ～ 12:00、
13:00 ～ 17:00

FAX でのお問い合わせ：03-5204-3188

手紙でのお問い合わせ、修理品のご送付：
〒 572-8540
大阪府寝屋川市日新町　2 番 1 号
オンキヨー株式会社
マルチメディア事業部
サポートセンター宛

E-mail でのお問い合わせ：vox@onkyo.co.jp

製品に関する最新情報などは：
ホームページアドレス
http://mmc.onkyo.co.jp/
をご参照ください。

※「WebSynth」に関する最新情報は、
http://www.faith.co.jp/
をご参照ください。

オンキヨー株式会社

本社　大阪府寝屋川市日新町2ー1　〒572-8540

SN29342919

Printed in Japan
D0004-1